

聴くオフ・ミーティング報告書

さまざまな立場で考えよう！

テーマ「みんなの公園を気持ちよく使うには？」



区では、区政への区民参加の仕組みづくりを進めています。その取組の一つとして、身近な行政課題について、区長と区民が直接意見交換をする区政を話し合う会「聴くオフ・ミーティング」を開催しています。令和6年3月23日は、「みんなの公園を気持ちよく使うには」をテーマに、一般公募と無作為抽出した2000名の区民の中から参加していただいた37名の方と、話し合いました。

区長から

区長への手紙で、毎日たくさんのはがきやメールをいただきますが、その中でも特に多いのが公園利用のルールについてです。公園は区民の皆さまにとって、最も身近で、最も利用する機会の多い公共施設の一つだと思います。自然を楽しんだり、ベンチでのんびりしたり、コミュニティの拠点や子どもからシニアまでの居場所になるなど、公園と言ってもいろいろな利用の仕方があります。その公園を様々な世代の方がみんなで共有しながら、気持ちよく使っていくためにどうしたらよいかということ、今日は皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。



担当課からの説明



今回のミーティングは「みんなの公園を気持ちよく使うには？」がテーマです。皆さんのお考えを伺う前に、まず、区の公園の現状について説明させていただきます。区には335か所の公園があり、公園数は23区では7番目ですが、一方で、区民一人当たりの公園面積となると、約2.25㎡と23区中19番目となっています。つまり小さな公園が多いというのが杉並区の特徴です。

このような特徴を活かし魅力的な公園を作るために、公園の機能分担に取り組んでいます。これは、一つの公園に小学生の遊具、保育園児の遊具を詰め込むのではなく「公園区」という一定のエリアを設定するというものです。

これは、小学生の遊具の公園を設けたら隣の公園には保育園児の遊具を設けるなど、機能を分担させて同じエリアで、できるだけ多くの世代が利用できる公園づくりを進めていこうという試みです。現在区内33の公園区を設定し、これまでに5か所の公園区を見直しました。次に、公園には、気持ちよく利用してもらうためのルールを定めています。このルールをお願いするにあたっては「お互いが譲り合って気持ちよく」が区の基本的な姿勢です。他の区では禁止されている喫煙も杉並区ではOKです。ただし、公園にお子様がいる場合は配慮していただいています。この他にも、区立公園はいろいろな方が利用します。ボール遊びはできる？夏休みの花火は？公園内での自転車の利用や犬の散歩は？

ルールを定めるにあたって、いろいろと問題になる点があります。公園利用のルールについては、制札板と呼ばれる看板で周知しているところですが、時代や状況によって、いろいろな意見やルールが出てきます。本日は、公園について区の取り組みを皆さんに理解いただくとともに、気持ちよく公園を利用するためのご意見をいただきたいと思います。

公園使用のルール

喫煙 OK

周囲への配慮をお願いしている一部の公園で分煙（5箇所）

ボール遊び NG

幼児がやわらかいボールを使う場合はOK ※球戯場を除く

自転車 NG

園内は手で押して通行

花火 NG

条件を満たし、届け出をした場合はOK

犬の連れ込み NG

管理事務所がある所など、一部の大きな公園はOK





グループ トーク



◀◀◀ 第1回 10:00~12:30

第2回 14:00~16:30 ▶▶▶

全体トークでは半円状の車座になり、参加者が一人ずつ自分の意見を発表した後、フリートークを行いました。以下は全体トークで出た主な意見です。

- 参加者 公園はいろいろな人が利用するので、わかりやすい表示やユニバーサルデザインなど取り入れればモラルが改善する。
- 参加者 他区と同様に犬の連れ込みはリード着用を条件にOKにして欲しい。杉並区の公園はルールが厳しい。せめてリードを着用すれば通るだけでもOKにして欲しい。
- 参加者 パークマップや広報など良いコンテンツはあるが、20代、30代は紙媒体をあまり見ないので、ウェブサイトで情報を入手できたり、メールによる情報発信の形をとると、もっと公園の魅力を知ってもらえる。
- 参加者 杉並区の1人当たりの公園面積が23区中19番目。やはり子どもを育てるには、もう少し物理的な余裕が欲しい。
- 参加者 以前、児童公園だった近くの公園も、今や全く使われていない。そうした公園が多くある。地域のライフサイクルに合わせて用途の見直しを行えば、周辺の住民にとっても大きな利益になるのでは。
- 参加者 公園への自転車の乗り入れについて、禁止するより専用通路などを設けて、マナーを向上させてはどうか。
- 参加者 公園の規模や目的をもう一度考え直してほしい。例えば子どもたちが安心して遊べる公園、高齢者が安心して過ごせる公園など、棲み分けが必要。
- 参加者 一人一人のモラルとマナーが大切。禁止ルールの増加はモラルとマナーの低下を表し、ルールの緩和は同様に向上を物語っている。禁止するのではなく、時代に合った政策を。



全体 トーク

- 参加者 それぞれの公園の個性に合ったルールづくりが必要。また、利用者の年代や、利用方法も様々なので、みんなで公園を気持ちよく使うには各々が配慮することが必要。
- 参加者 公園が広くみんなが共存共栄して使える場になればよい。ルールづくりは利用者同士の対話が必要。区としてどういう公園を作るのかコンセプトを明らかにすることも大事。
- 参加者 公園内の禁煙は全国共通だと思っていたが、杉並区はモラルを守れば吸ってもよいと知り、23区では杉並区だけが喫煙OKなのだと感心した。
- 区長 公園がコミュニティの拠点であると考えれば、今までと公園の見方や関係性が変わってくるという点と、今の公園利用ルールのように「これをしてはいけない」といった禁止事項の掲示よりも、「こうしてください」「こうならいいですよ」といったルールの伝え方、掲示方法の方が良いといった意見について、もう少し皆さんと対話できたらと思います。
- 参加者 よくお店のトイレに「いつもキレイにご利用いただきありがとうございます」と掲示があるが、公園も「正しく公園を使ってありがとうございます」と掲示し、その後例えば「やわらかいボールの利用はOK」という掲示にしてみてもいい。
- 参加者 利用者が少ない公園を緑地化して、農業体験など子どもが土に触れる体験ができるような場にしてもらえたら楽しい。
- 参加者 日本語の読めない外国人が禁止事項やルールを理解できないのでは。公園のそういう面を改善し、いろんな文化背景を持つ人たちも利用できるコミュニティの場にしては。
- 参加者 子ども向けの公園は地域住民にとって子育ての大切な場だということをもっとアピールしていくことが必要。マナーが悪い人にも自制が働くようにしていくことが必要。



- 参加者 公園の利用は譲り合ってというのが大原則。そのためにはお互いをよく知り話し合うことが必要。そのような繋がりの中で自分たちの街ができていく。公園の利用ルールを話し合うことは、街づくりの第一歩だと気づいた。
- 参加者 規則で縛るのではなく、公園での人の繋がりを大事にしていくことで、人の繋がりを理解し合うことで、できるだけNGの少ない公園を作れるのではないかと。
- 参加者 公園の利用のNGルールが多いと利用しづらいという意見があるが、みんなが使う公園ではルールが必要であり、また禁止事項等、明確に定めることが必要。
- 参加者 公園の利用は基本的にマナー優先でよい。平時の使い方も大事だが、震災時の有事の備えとして公園は大事な資源。その点である程度の広さがある公園は防災対策の位置づけが必要。
- 参加者 NGルールを増やさないよう、マナーアップや注意し合えるコミュニケーションが大事。また、この日はキャッチボールOK、犬の集まりOK、花火OKなどの日を設け、公園利用者を増やし利用者の繋がりを広げてはどうか。
- 区長 公共財としての公園の利用ルールをとおして、地域のコミュニケーションや繋がりが強くなっていく点や、防災の拠点としての指摘もありました。あと、公園の大きさや機能という点についてもう少し検討できたらと思います。
- 参加者 利用者別に必要な機能を想定して、機能別の公園を作り、エリアとして公園利用を考える取組に賛同するが、幼児と子どもと高齢者みんなが使える工夫も必要。
- 参加者 区には小さな公園が多く、一定のエリア内で公園の機能を分担する取組があると聞き、子育て世代を応援できる公園、中高生も集まれる場所、世代同士で繋がれる公園ができればよい。

- 参加者 小さな公園に健康器具を設置し、その隣の公園には別の種類の健康器具を設置して、公園巡りのウォーキングと健康器具の使用による健康増進を検討してほしい。
- 参加者 小さな公園は時間帯によって利用者が少ない一方、大きな公園は混みあっている。小さな公園の空いている時間に利用者を分散させるなど公園利用の効率化を図ってはどうか。
- 参加者 近くにある公園はすごく狭く、いつも小学生ぐらいの子どもだけが遊んでいて利用しづらい。子どもと高齢者が共存して使える工夫はできないか。
- 参加者 区には、小さな公園が多いことを初めて知った。一定のエリアで、例えばボールが使える公園と禁止の公園、犬が遊べる公園と犬が入れない公園というふうに、色々な機能を分担させればよい。
- 参加者 公園は多様な人たちを受け入れる場であってほしい。また安全安心で衛生的なことが必要なので喫煙はNG。
- 参加者 公園利用者には子どもが多く、保育園児たちも来るので、公園の周りの交通安全にも配慮してほしい。また杉並区は川が多く、昔の水路が遊歩道になっているが、公園と遊歩道とつなげて利用できないか。
- 参加者 小さい公園は近くの町内会が利用している。公園での町会行事に、若い世代や子育て世代が参入していく機会があれば、公園が町会の活性化や世代間の繋がりに役立つ。
- 参加者 自分たちの町の公園をどう使うか。それを考えるきっかけとして公園でイベントを行うのはどうでしょう？私のところでは、お祭りで公園の防災器具をみんなで使い、誰でも使えるようにしていざという時に備えています。



区長と話し合う会
聴くオフ・ミーティング



区長と話し合う会
聴くオフ・ミーティング

区長の感想

杉並区には小さな公園がたくさんあるという魅力を、今発揮できていないとすれば、そのアップデートも含めて小規模公園の強みを、もっと引き出せないか検討していきたいと思いました。

また、公園は地域コミュニティの場や防災拠点としても重要です。そうした公園の多面的な魅力や使い方についても、今一度職員と共に考えていきたいと思います。



みどり公園課長から



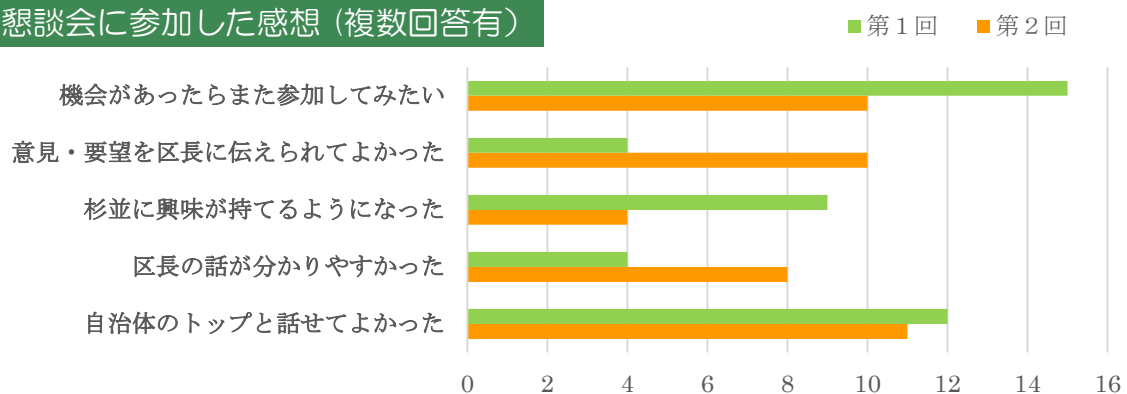
公園は「当たり前」に存在する施設であり、公園に対していただく声のほとんどは厳しいものです。今回参加された皆様からは、文字からだけではわからない、公園に対する思い、公園の使い方やその伝え方についてのアイデアをたくさんいただきました。

公園では、同じ利用者でも相反する意見があり、公園の周辺にお住まいの方のご意見があります。なぜルールを緩めてほしいという声があるのか、逆に厳しくしてほしいのか、それぞれの理由を知って

いただくことが大事だと考えています。

公園の使い方について、特効薬はなく、一つ一つ地道な積み重ねだと思います。公園は皆さんのものだからこそ、皆さんの協力が不可欠です。周囲にお住まいの方のご理解のもと、誰もが気持ちよく公園を利用していただけよう、いただいたご意見を踏まえ、区としても使い方の見直しなどに取り組んでまいります。

懇談会に参加した感想（複数回答有）



令和6年3月23日開催 聴くオフ・ミーティング報告書

〈参加者〉 区民37名、区長、みどり公園課ほか

令和6年5月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111

